

議会と首長が連携を密にし

住んでよかったと言えるまちづくりを

議長 森 隆一

去る5月26日・27日に平成27年度全国町村議会議長副議長研修会が東京中野サンプラザホールで開催され、全国で1600人・800町村が参加した。

それに先立ち、5月25日にグラウンドヒル市ヶ谷で京都府11町村と滋賀県6町との合同研修会があり、夕方5時から全国市長会調査広報部参事の廣瀬和彦氏による「正副議長に求められるもの」と題して講演を聴き、正副議長としての精神面や議会機能を発揮できるための努力について具体的に論説され、議長の責務について大変参考になった。その後、意見交換会があり、特に京都の山間地の町については、高齢化率が高く、若い人たちが定着していないということで、いずれ消滅町になるのではないかと報告があり、どこの町も同じような課題をかかえていると痛感した。

全国町村議会議長副議長研修会においては、帝京大学の内貴滋教授から「地方自治の母国に負けない我が国の町村議会」と題して講演を聴いた。これからの市町村は自らの考えで動かなければ地方創生はできないこと、また内貴教授の論文の中で「住民投票より、地方議会で決着を」という自治日報にはとても気を引かれるものであった。

基調講演の後、「これからの町村議会を考える」というシンポジウムがあり、パネリストに5名の町村議長がわが町の紹介をされ、それぞれの町村議会の詳細な取り組みを聞き、大変参考になった。

2日目の研修では、関西大学の白石真澄教授の「日本の健康の鍵は、農村漁村が握る」をテーマにした講演があった。また、「地方創生と政治経済の展望・試される地方自治・問われる首長と議会」という講演を聴き、一人ひとりが町のために議員として何ができるかもう一度原点に振り返ることの重要性について、改めて学ぶことができた。

これからの愛荘町のために、議会と首長が連携を密にし、住んでよかったと言えるまちづくりに取り組んでいきたい。



H27.6/21
愛荘町消防ポンプ操法大会
(副議長出席)



H27.6/4
愛知郡実行委員会総会
(議長、同対委員長出席)



H27.5/18
県監査委員会定期総会
(監査委員出席)



H27.7/1
町立つくし保育園
改築工事起工式

議会活動 日誌



H27.7/10
国道8号バイパス
建設促進期成同盟会総会
(議長、総務産建委員長出席)



H27.7/8
北方領土返還要求県会議総会
(議長出席)



H27.6/29
国土交通省予算説明会
(議長、総務産建委員長出席)



H27.7/3
国道307号改良促進協議会総会
(議長出席)



愛知高等養護学校の夏の販売会

6月13日(土)、恒例の夏の販売会が行われ、生徒さんが育てた色とりどりの花が販売され、たくさんの方のみなさんが訪れました。パンの試食販売コーナーでも、行列ができました。

